

宮城県泉高等学校 同窓会

泉陽会会報

第32号

発行 宮城県泉高等学校泉陽会
 泉区将監十丁目三九番一
 電話(〇三三)三七二四一一
 印刷 株式会社 東北堂
 太白区鉤取一丁目二番一
 号



「スクールアイデンティティ」
 同窓会長 桂島 晃

スクールアイデンティティを掲げ、教職員が共通理解し、同じベクトルを持ち、教育していくことはとても大切なことであるように思う。私は、同窓会長として、三十数年、泉高校に関わってきたことにより、学校の歴史を点ではなく、少しは線としてとらえられるようになってきたと思っている。

昭和五十六年、五十七年、泉区内に泉松陵高校、泉館山高校が新設され、学力や部活動など、三校で競い合うことになり、母校は板挟みの状況にあったように思う。泉高校の特色をどう示していけばいいのかが、当時の校長先生方は悩んでいたように思う。

平成七年、泉高校は、国際理解グローバル人材の育成などを視野に入れ、英語科を新設したように記憶している(県内では二番目)。その後、多くの学校で英語科が新設されていく。早いもので英

語科が設置されて、約二十年以上が経過している。あらためて、泉高校の特色が問われている時期に来ているのではないだろうか。泉高校は、今年度、スクールアイデンティティとして、「積極挑戦し未来を切り開く生徒く多様な経験から主体性を育む」を掲げている。積極挑戦する生徒をどのようにしたら育むことができるだろうか。泉高生の長所は、「素直さ」と「真面目さ」であるという。これに、高い志を持つことができれば、積極挑戦し、能力を最大限高めることができるのではないかと考える。同窓会としては、毎年開催されている社会人講話に、同窓生を講師として派遣している。「仕事に対する心構え」「生き方」等、在校生の志を高める一助になればと思っている。社会の第一線で活躍する



役員会(泉陽会館、7月2日)



人の話を聞くことは、志を高めるためには、とても有効であると考えます。学校教育に「外の風」、すなわち、変化する社会の動きや社会人としての役割・使命を取り込み、世の中と結びついた教育を通じて、子どもたちにこれからの人生を前向きに考えさせることが主体

的な学びの鍵となるのではないだろうか。

宮城県では、教育振興基本計画の重点的取組に、志教育の推進を掲げている。宮城の復興を担う人材として、母校においても「志教育」を積極的に推進してほしいと考えている。

今年四月の人事異動で、宮城県立視覚支援学校から赴任してまいりました。同窓会の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。本校は



「積極挑戦し未来を切り開く学校へ」
 校長 片岡 実

旧泉市初の男女共学の普通科高校として、昭和四十八年四月に開校し、今年で創立四十四年目を迎え、これまで順調に発展を遂げ、英語科(平成七年四月新設)を有する進学校として、地域・中学校・保護者等から高い評価を得ております。生徒は創立当初の伝統・校風を受け継ぎ、「明朗進取、自重敬愛、勤勉奉仕」の三つの校訓のもと、文武に渡って頑張り、明るく楽しい学園生活を送っています。今年度の運動部や文化部の活躍については、詳しくは活動報告をご覧ください。陸上競技、新体操女子個人、水泳男子飛込で東北大会に出場しました。放送部はアナウンス部門、朗読部門、ラジオドキュメント部門で、囲碁は女子個人戦宮城県代表として全国大会に出場しました。また、吹奏楽部は四十周年記念定期演奏会で委嘱作品を披露しました。

さて、本校では、昨年度末にスクールアイデンティティ(SI) (望ましい生徒像)として「積極挑戦し未来を切り開く生徒く多様な経験から主体性を育む」を掲げました。今年度からは、このSIの具体的取り組みとして、これまで以上に生徒の成長を支援すべく、全職員が学習面や部活動のみならず様々な場面や機会をつくり、生徒の「積極挑戦」を日々鼓舞しています。積極挑戦する意欲と自主性を育むための多様な経験とは、運命を変えるような「出会い」と「出来事」であると考えます。去る六月二十二日には、脳トレで有名な東北大学の川島隆太教授(東北大学加齢医学研究所長)をお招きして、基本的生活習慣やスマートフォン使用が学習にあたえる影響について、全校生徒に講演をお願いしました。また、生徒の積極挑戦を支えるのは自ら積極挑戦する教職員集団ですので、まず先生方が授業においてアクティブ・ラーニング(能動的学習)やICT活用を一層推進しています。本校は、これまで積み重ねた実績の上に立って、さらなる発展に向かう時期が来ていると考えます。

同窓生の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、同窓会の今後のますますの発展を祈念申し上げます。

泉高校近況・同窓生動向 NEWS・NEWS

泉高校吹奏楽部・定期演奏会

今年で四十回を迎えました!

世界初演のオリジナル曲も



吹奏楽部OGの鎌田ゆう子さん(八回生)が、現顧問の鈴木信隆先生に取材しました。Q1・オリジナル曲を依頼した経緯は?

四十回の節目を迎えるにあたり、演奏会の目玉となる企画を考えていく中で、本校吹奏楽部だけのために作られた曲を演奏することが浮上してきました。四十回記念委嘱作品を作曲された八木澤教司先生と私(鈴木)は、通

本校吹奏楽部は一九七三年の開校と同時に創部。一七五年には吹奏楽コンクール東北大会に出場。一九七六年、第一回定期演奏会を県民会館で開催。以後、震災中止の二〇一一年を除き毎年演奏会を重ねて、今年で四十回。本校の周年記念式典、総体などの開会式、地下鉄開通記念式典などでも演奏を披露してきた。

学していた中学校が隣同士で、地元と一緒にあります。八木澤先生は全国各地の校歌や合唱曲「あすという日が」を作曲なさった方で、吹奏楽の世界でも大変有名な方です。曲のイメージは部員たち自身が出し合い、日頃の活動の様子をストーリーリ化して曲にしたいと思いました。八木澤先生には作曲中に本校

に来ていただき、部員と直接打ち合わせをするとともに吹奏楽部の雰囲気やサウンドを実際に体験してもらいました。

Q2・今回の演奏会で大変だったことは?

他校の定期演奏会と比べても今回の曲数はとても多かったのですが、日々の練習をこなすこと自体が大変だったと思います。様々なジャンルの曲を演奏することによってご来場いただいたお客様に楽しんでいただくねらいに加え、やはり肝心なところとして、多様なジャンルの曲を練習していく過程の中で、いろいろな心で感じ取ることで部員たちに音楽的にも精神的にも成長して欲しいとの気持ちがあります。また、パンフレット作成や各ステージの演出は、部員が中心となって協力し合いながら取り組んでいます。これらも大変だったと思います

Q3・準備期間はどれくらいですか?

前回の演奏会が終わった直後から話し合いが始まり、だんだんと視野も広く、様々な立場で物事を考えることができるようになっていきます。また、部員負担分に加えてパンフレットに掲載していた広告収入が運営資金の柱となりますが、広告を集めるためには事業所や個人経営のお店などにお伺

いし、直接お会いして趣旨を説明し御協賛いただきます。このような社会体験もしながら、一つのイベントを作り上げる事の大変さも部員たちは経験していきます。自分たちが主催者である難しさや、どうにかしてでも成功させなくてはいけないプレッシャーの中で、お客様に楽しんでいただくという本質を忘れることなく、悩みや困難を乗り越えながら準備作業を行っていきます。

Q4・放送部などお手伝いしていたようですが……

あくまで私の考えですが、せっかくなので吹奏楽部だけに盛り上がりも仕方がないと思っています。いろいろな文化部と協力し合って地域の方々に日頃の活動が見える機会を互いにつくることで、文化部全体を盛り上げていきたいと考えています。今回のコンサートではアナウンスを放送部、パンフレットの表紙絵を美術部、大ホール入り口の看板を書道部に墨書してもらいました。

Q5・演奏会を振り返っていかがですか?

第一ステージは四十周年を記念して、過去の演奏会でお送りした曲の中から選曲しました。一週間前に初めて譜面を渡された曲もあるなど、顧問の無茶ぶりにも部員たちはよく対応してくれたと思います。四十年を振り返

るパンフレット内の企画も周年記念誌や過去のパンフレットを参考にしながらよくまとめていました。あつ、演奏もよかったです(笑)。

Q6・今後の活動は?

一昨年、昨年としばらくぶりにコンクール県大会で銀賞を連続で取ることができました。昨年度に顧問を引き受けたときよりも、今年はスタートラインがレベルアップしているの、ぜひ県大会金賞を狙っていきます。また、地域のイベントにも積極的に参加し、吹奏楽部と地域との交流を深められるような活動を目指していきたいと思っております。今後ともご支援の程、よろしくお願いいたします。



鎌田さん(左端)とPTA会報編集の皆さん、顧問の鈴木信隆先生(右端)

トピック NHK杯高校放送コンテスト原稿より

●第四十回定期演奏会(三年熊合理子)

吹奏楽部の定期演奏会で新曲が披露されます。四十回目の演奏会を記念して作られた「碧き泉のほとり」という曲です。部員たちが考えたストーリーがあり、作曲家の八木澤教司さんが作りしました。泉高校吹奏楽部を泉の妖精に例えて、さまざまな困難を乗り越えながら大海原を目指します。展開に合わせて曲調やテンポを変えたり、妖精のかわいらしさや冒険への勇ましさなど、曲のイメージも八木澤さんに細かく伝えました。

部長の佐藤君さんは「自分たちのこれまでの成長が曲に描かれていて嬉しかったです。今まで支えてくれた人々への感謝の気持ちをこめて演奏します」と話していました。当日は、過去に演奏した曲の再演やミュージカルのパフォーマンスもありました。演奏会は、来月七日土曜日、午後五時からイズミティで開かれます。(全国大会出場原稿)

●本校一回生のハナミズキ(三年鈴木里佳)

今年もハナミズキが爽やかな白い花を咲かせています。このハナミズキは、泉高校第一回生の皆さんが、今から五年前に寄贈したものです。現在はおよそ七〇〇本の木が植えられている緑豊かな泉高校ですが、開校当初は土がむき出しの殺風景な環境でした。しかし、一回生の皆さんと当時の先生方が緑化活動に尽力したことで、今の自然に恵まれた泉高校になりました。

卒業生で初代生徒会長の伊藤俊明さんは、「ハナミズキの花言葉は『恩返し』です。母校への恩返しと共に、在校生がこのハナミズキを見ることで、泉高校がたくさんの人の努力の賜物であることを感じてもらいたいです」と話していました。

植樹当初はとても小さかったハナミズキですが、今では二メートルほどに成長しました。このハナミズキを見るときに今の泉高校を作り上げた先輩方の想いを感じましょう。(県決勝大会優良賞受賞原稿)

東北大・大学院で「日本語教育」を学び始めました



本校三十七回生の田鎖楠奈さんが今春、東北大学の大学院（文学研究科 言語科学・日本語教育学専攻）に進学しました。近況を聞きました。

Q1. 東北大学の大学院（日本語教育学専攻）入学に至った経緯を教えてください。

私は泉高校卒業後、東北福祉大学で福祉を学び、福祉関係のボランティアをしていました。でも、一方で海外にも興味があり、大学時代に何度か旅行をしてきました。そして、ひょんなことから日本に来ていたブータンの人たちが日本人に日本語を教えることになり、それがきっかけで外国人に対する日本語教育に関心を持ちました。その時にお世話になった東北大学の先生の勧めもあって、日本語教育について本格的に学び、福祉にも結びつく研究的な視点とを考え、大学院を受験しました。

実は就職活動をしてタイの企業から内定をいただいていたので、大学を卒業したらタイでばりばり働くかと思っていました。ですが、大学四年の秋に内定を辞退し、思い切った大学院に進みました。今思うと無謀な

挑戦でしたが、あの時自分を試してみてもよかったなあと思います。（笑）

Q2. 大学院での生活はいかがですか？

勉強は大変です。毎日課題や発表があり、人生の中で一番勉強していると思います。（笑）おかげでクマが消えませんが！（笑）でも、新しい知識がどんどん増えていって、脳みそも喜んでる気がします。私が日本語の勉強や教える練習をしていけば、きっと将来楽しくて元気の授業ができるかと信じて頑張っています。いつか私の授業を受ける外国人が、「日本語は楽しい！日本だいいすき！」と思ってくれるように、私も頑張らなきゃ！と思うのです。

研究室にいくと、もともとと日本語教育について知りたくなるし、自分の考えをたくさんの人に伝えてみたいと思えます。日本語教育学研究室の学生のほとんどは中国からの留学生で、院一年生四人のうち日本人は私だけ。毎日が異文化交流です。（笑）中国語の飛び交った研究室ですが、みんななかなか「いい奴」で仲よくやっています。

修士論文は「外国人介護士のための日本語教育／高齢者の異文化受容度」というテーマで書くつもりです。今、介護現場で外国人介護士へのインタビュー調査をしています。大学時

代からやってきたボランティアは続け福祉の視点は忘れないうようにしたいと思っています。福祉×日本語教育の分野はまだまだ新しいようですが、とても重要なテーマだと思おうので、とことん頑張ってみようと思っています。

Q3. いま取り組んでいることは？

大学院一年生は毎年夏休みには必ず実習をすることになっていて、今年も四名で日本語教

室を開きます。学習者を募り場所を確保し、教案を考えて実際に授業をするまでが実習内容です。まだまだ教えるのが下手なのですが、必死に教え方の勉強をしています。東北大川内キャンパスで八月八日から三週間実施します。今年も泉高校の生徒さんにもボランティアで手伝いをしていただくことになり、ぜひ生の日本語でたくさんお話ししていただければと思っています。

「タイムカプセル」開けます！ 二〇一七年三月二十五日 約束の日迫る

本校三十四回生（平成二十一年三月卒）が高一だった二〇〇七年三月、一年四組が「タイムカプセル」を実施。それぞれ持ち寄ったものを箱に入れ、担任の先生の自宅に保管。それから十年、開ける約束の日が近づきました。企画メンバーに当時の思いと近況を取材しました。

●高橋（二宮）友美

タイムカプセルはクラスの思い出を残したくて企画しました。一の四は本当に男女問わず仲が良く最高のクラスでした♡♡ 開ける日は皆がどんな風になつたのか、変わってないのか、まず会えるのが楽しみ！！

みんな、タイムカプセル開けるとき絶対来てね！！先生、タイムカプセルあけるの、楽しみですね♡♡
（近況）私は柔道整復師の資

格を取って、今は富谷町の成田で夫と二人で整骨院をしています！

●阿部 保

男女仲がいいクラスだったと思います。みんなどんな物を入れたか、箱を開けるのが楽しみです。そして、本当に久しぶりに会う人が多いので、会うのも楽しみです。今回タイムカプセルの話題が出て、高校のときのことをいろいろ思い出しました。

●松山 邦大

四組は自分を出しても受け入れられる安心感があり、個性が発揮できた、いろんな意味で自由なクラスでした。自由な発想を求める雰囲気にした担任の力があってのこと。皆が皆の

ために考えるクラスで、私も刺激をと「いちご配給係」としてテオリアに投稿していました。この会が過去の自分の想いを受け止め今の自分がどう生きていくか再確認するきっかけになればと思います。
（近況）明成高等学校で非常勤講師をしております。毎日生徒と悪戦苦闘ですが、自分の世界観が広がっていきうようで充実しております。

●小嶋（斎藤）萌

もう十年！あつという間すぎでびっくりです。同じ教室で高校生活を送っていたみんなが十年後どうなっているのか気になってタイムカプセルを企画しました。同じ制服着ていた私たちが、今はそれぞれの道で頑張っていると思います。それぞれの生き方や仕事、今を語ってよい刺激になるといいなあと思っています。

●仁昌寺涼香

四組は大好きすぎて、史上最高のメンバーが揃ったクラス♡♡ 毎日笑ってた日々が懐かしく恋しいです♡♡ 今でも仲良くいられる素敵な友達と山上せんせーに出逢えてほんとによかった！みんなきつと素敵な大人になつてるんだろな。開ける日がきたなんて感動！この縁を大切に今後よろしくお願ひします♡♡
（近況）仕事バリバリしてます！最近、人生の岐路かなと悩み、自分の心に

素直に向きあいたいと思つてマス♡♡ 最近のテーマは「我思う、ゆえに我あり！」

仲間を思いやり相手を受け入れる、非常に賢い強者集団だったと思います！笑 タイムカプセルは未来が予測不可能なメンバーと出逢えたから産まれた発想。一の四はただただ先生の愛に溢れていたクラスです♡♡ 当時は出来なかつた蓋を交わすことをしたくないです♡♡ 皆様との再会を心待ちにしています！

●赤間 由奈

このクラスの担任は実は取材者の私。とても強烈で楽しいクラスでした。彼らのことだから、私がちよと定年退職を迎える年に合わせ企画してくれたのでしよう。三月にはクラス全員との再会を楽しみにしています。わが家に十年寝かせてきた箱を開き、私の教員人生の幕引きとします。

トピック 三十一回生の 同窓会を開きます

平成十八年三月（二〇〇六年）卒業の普通科第三十一回生が、卒業十年を迎える今年、同窓会を企画しています。十月八日（土）、仙台駅付近にて。詳細は未定。問い合わせは庄子達也、及川陽平、長谷雄介、佐藤圭のいずれかへ。

合格者数

Table with columns: 国公立大学, 現役, 過卒. Lists various universities and their student counts.

Table with columns: 私立大学, 現役, 過卒. Lists private universities and their student counts.

Table with columns: 私立大学, 現役, 過卒. Lists private universities and their student counts.

泉高校生の進路状況 今年も頑張る!!!

進路指導部

この表は、今春の卒業生及び過卒生の大学等の合格状況です。卒業生は自分の目標や夢に向かって入試に挑戦し、多くの卒業生が合格を果たしました。

今から20年前の「進路の手引き」を見ても、泉高校生の「上級学校へ」という進路志向そのものに大きな違いはありません。当時よりは私立大進学者が減少し、国公立大進学者が増加傾向にあります。

男子バスケットボール部

地区予選敗退

女子バドミントン部

団体 予選リーグ 石巻西 △

男子卓球部

地区予選敗退

女子ソフトテニス部

団体 ベスト8

男子バドミントン部

個人 リボン第1位 佐々木真央

女子バレーボール部

個人 対 角田 ● 1-1

男子バレーボール部

個人 対 石巻 ● 0-2

女子バドミントン部

個人 対 角田 ● 1-1

男子バドミントン部

個人 対 角田 ● 1-1

女子バレーボール部

個人 対 大河原 ● 0-1

男子バレーボール部

個人 対 石巻 ● 0-2

女子バドミントン部

個人 対 角田 ● 1-1

男子バドミントン部

個人 対 角田 ● 1-1

女子バドミントン部

個人 予選敗退

男子バドミントン部

個人 予選敗退

女子バレーボール部

個人 予選敗退

男子バレーボール部

個人 予選敗退

女子バドミントン部

個人 予選敗退

男子バドミントン部

個人 予選敗退

女子バレーボール部

個人 予選敗退

男子バレーボール部

個人 予選敗退

女子バドミントン部

個人 予選敗退

男子バドミントン部

個人 予選敗退

女子バレーボール部

個人 予選敗退

男子バレーボール部

個人 予選敗退

第31回泉三校定期戦

結果 総合得点42点(第2位) ※優勝は泉館山高校(総合得点44点)

文化祭

第63回NHK杯全国高校放送コンテスト宮城県大会(6月16日・17日)

全国高等学校総合文化祭(広島島田)

放送部 泉屋影映子 涼 洋平

第40回全国高等学校囲碁選手権大会

個人代表選抜戦 女子第1位

水泳飛込

男子1000m飛込 1位 土田龍平

女子バドミントン部

個人 予選敗退

男子バドミントン部

個人 予選敗退

女子バレーボール部

個人 予選敗退

男子バレーボール部

個人 予選敗退

女子バドミントン部

個人 予選敗退

男子バドミントン部

個人 予選敗退

女子バレーボール部

個人 予選敗退

男子バレーボール部

個人 予選敗退

事務局より

・昨年担当の鈴木浩幸先生転勤のため、事務局は総務部、内海渉次が担当します。宜しくお願いします。